

## 第3章 本市が目指す農業都市像

### 1 本市農業の今後の方向性

#### (1) 本市農業の役割

##### ① 食料の安定供給を通じた市民生活の保障

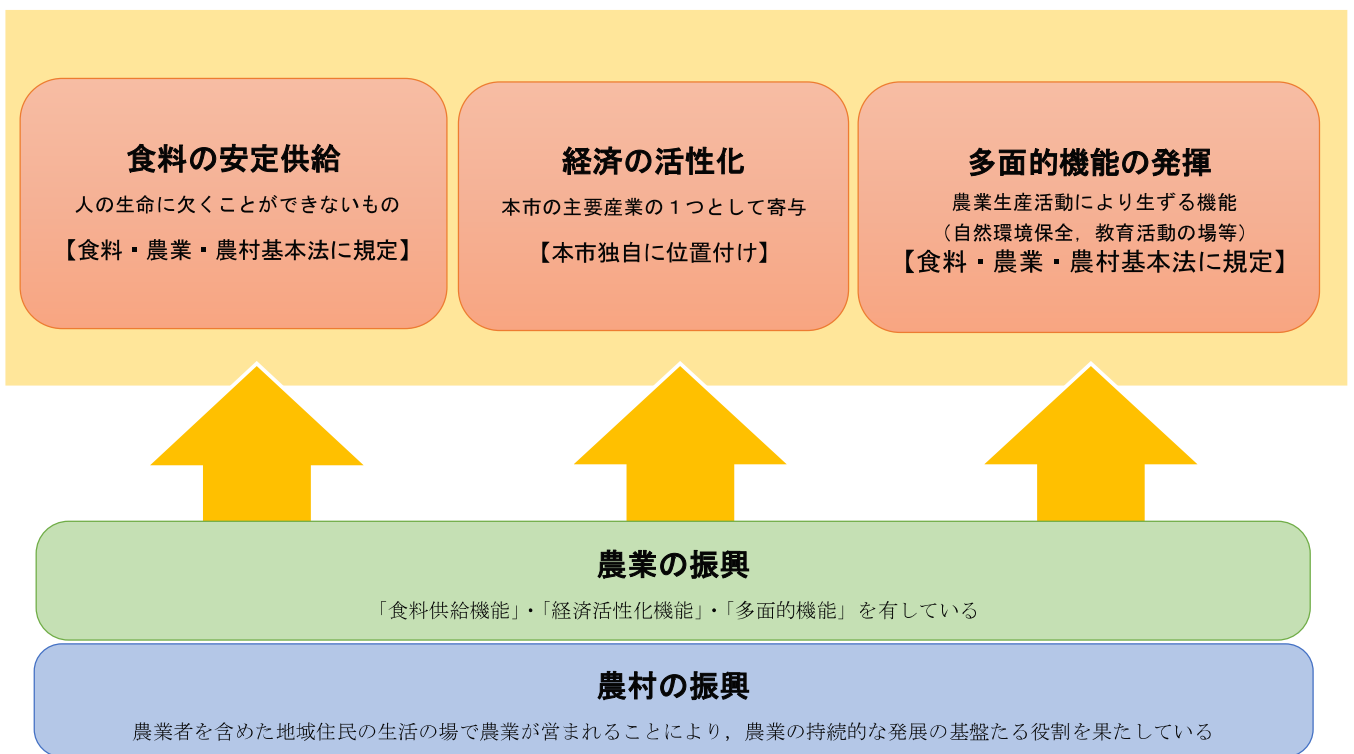
市民の安全・安心な生活環境を確保するため、「安全・安心な食料」の生産・供給を通じて、市民生活を守っていくことが求められています。

##### ② 経済の活性化

本市の主要産業の一つとして市内総生産の一翼を担い、本市経済の活性化に寄与することが求められています。

##### ③ 多面的機能の発揮（自然環境の保全，教育・福祉活動の場の提供）

継続的な営農活動を通じて良好な景観の形成や生物多様性の保全，治水や水源の涵養等の国土保全，さらに，体験学習と教育の場としての役割が求められています。



#### (2) 今後の方向性

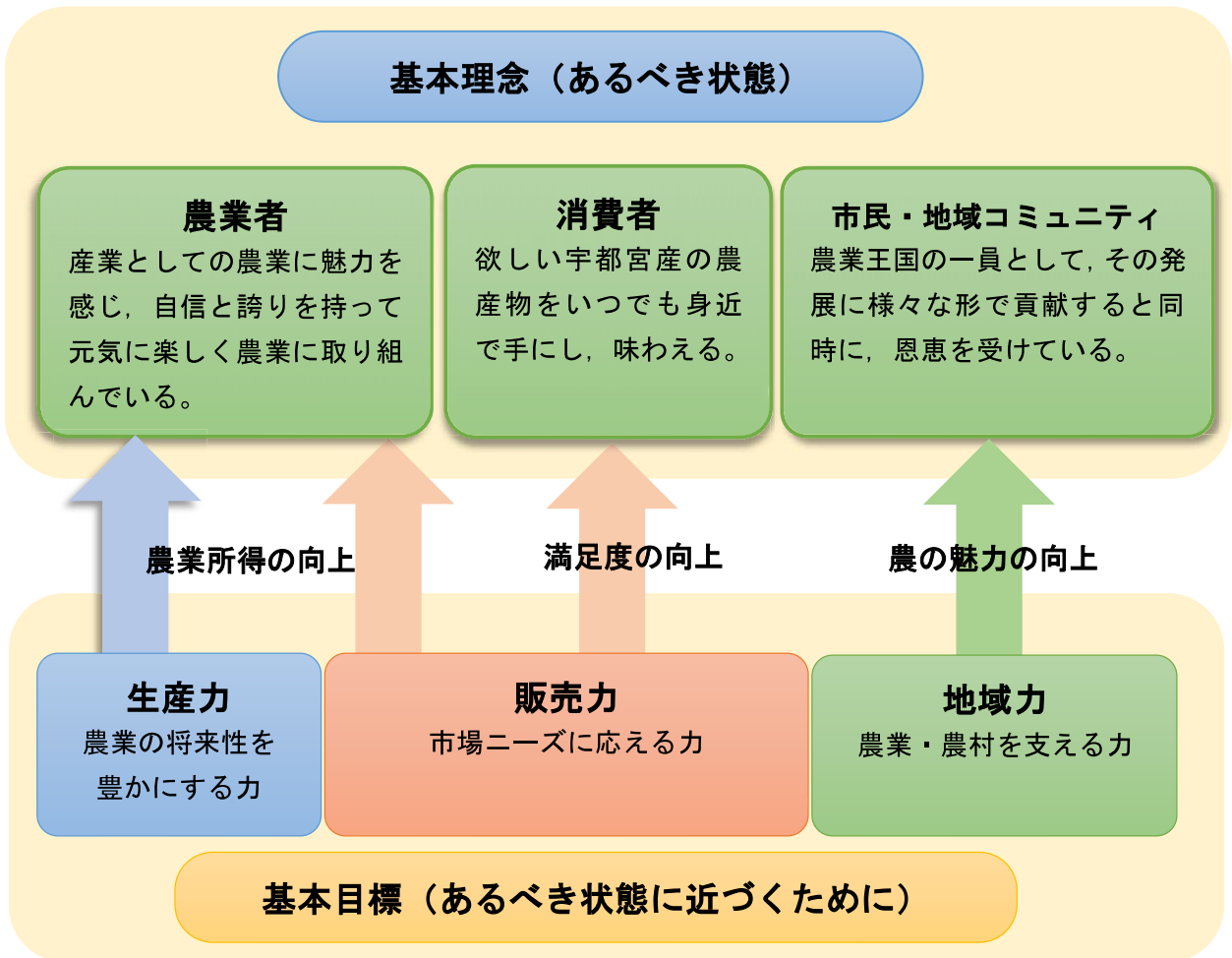
本市農業がその役割として「食料の安定供給」を確保しつつ，主要な産業の1つとして本市の「経済の活性化」に寄与していくためには，「生産性向上を図るための構造改革（生産力の向上）」と「高く・多く売れる農産物づくり（販売力の向上）」が必要です。

また，「多面的機能の発揮」のためには，「地域ぐるみで農業・農村を支える体制づくり（地域力の向上）」が必要であり，これらの3つの力を農業者，消費者，市民・地域コミュニティが一体となって，高めていく必要があります。

## 2 基本理念（あるべき状態）

「生産力」・「販売力」・「地域力」の3つの力を向上させることにより、「**農業者は、産業としての農業に魅力を感じ、自信と誇りを持って元気に楽しく農業に取り組んでいる**」状態を、「**消費者は欲しい農産物をいつでも身近で手にし、味わえる**」状態を、「**市民や地域コミュニティは、農業王国の一員として、その発展に様々な形で貢献すると同時に、恩恵を受けている**」状態を、「基本理念」（あるべき状態）とします。

「基本理念（農業者、消費者、市民・地域コミュニティのあるべき状態）」に近づけていくため、「生産力」「販売力」「地域力」を向上させることを施策の柱とし、それぞれ基本目標を掲げ、施策事業を推進していきます。

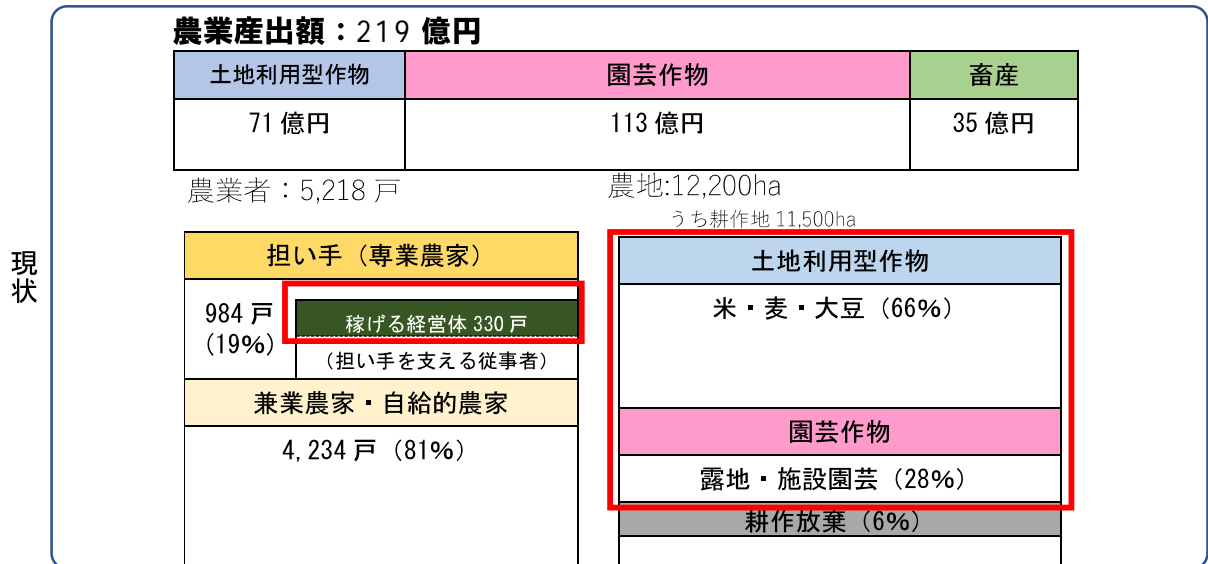


### 【目指す農業都市像】

担い手いきいき！消費者にっこり！地域と築く「農業王国うつのみや」

### 3 目指す農業構造～宇都宮の食と農を未来につなぐ構造改革～

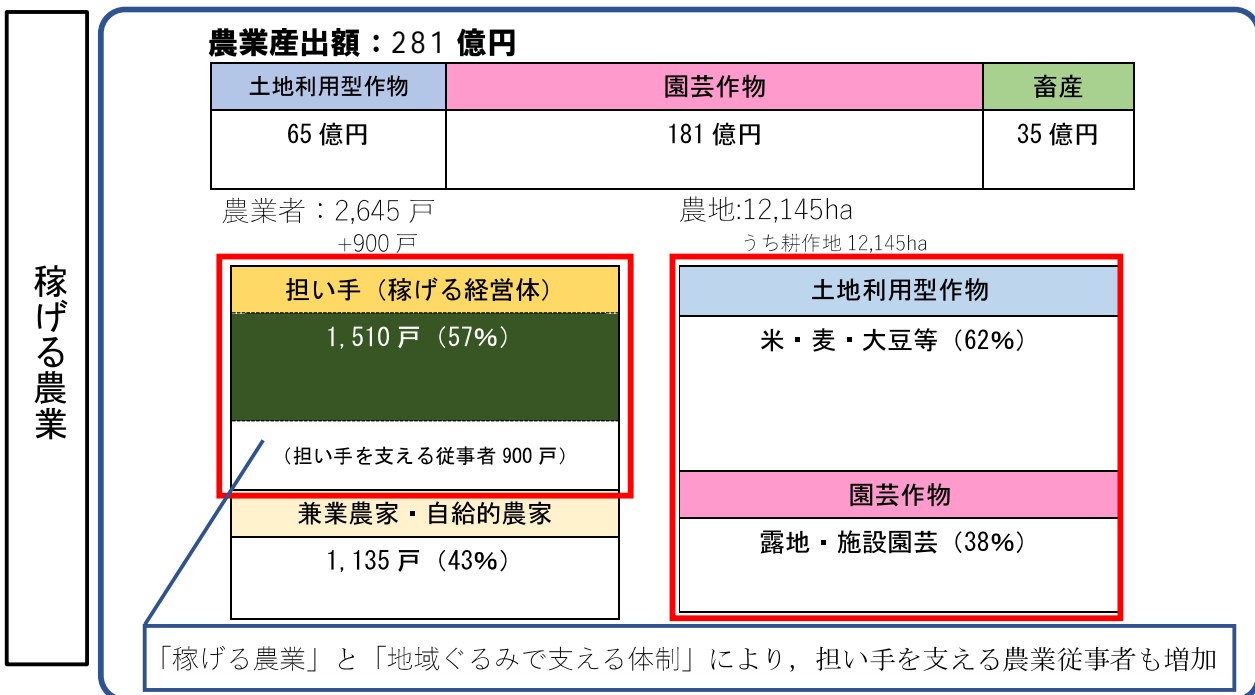
今後の方向性を踏まえ、本市農業の持続的な発展に向けて、農業者の農業所得が向上し、選ばれる職業として後継者が就農する「稼げる農業」と、農の多面的機能の維持・発揮に向けて市民が一体となって「地域ぐるみで農業・農村を支える体制」の実現を目指します。



**「地域の農業者の話し合いによる合意形成」「効果的な事業の実施」**

- 担い手の農業経営に対する他の耕作者の参画の促進
- 土地利用型農業から大規模露地園芸への転換
- 施設園芸における新規就農の促進
- 生産基盤の再整備による農地のフル活用 等

【10年後】



消費者・市民・地域コミュニティ  
地域ぐるみで農業・農村を支える体制

【担い手（稼げる農業経営体）の10年後の経営体数の考え方】

経営類型	現 状			施策展開	10年後			
	農家戸数	農地面積	平均所得		農家戸数	農地面積	所得	
米麦等	担：250戸 他：3,240戸	2.3ha	74万円	}	担：340戸 他：700戸	18.0ha	580万円 以上	
露地園芸	担：380戸 他：802戸	2.6ha	300万円		担：650戸 他：340戸	5.0ha		
施設園芸	担：134戸 他：108戸	0.3ha	250万円		担：300戸 他：50戸	0.7ha		
果 樹	担：170戸 他：81戸	1.2ha	460万円		担：170戸 他：43戸	1.5ha		
畜 産	担：50戸 他：3戸	※	※		担：50戸 他：2戸	※		※
合 計	担：984戸 他：4,234戸				担：1,510戸 他：1,135戸			

※ 畜産は、米・麦等との複合経営が主であることから米・麦等に含めている。

【認定農業者の年齢・所得分布図】

